



児童養護施設で暮らす若者をサポート

ミニバイト事業

子どもたちを
応援するために、
ワタシにできることを
探そう！



県内15か所の児童養護施設の若者たちのうち、厳しい生育環境に伴う生きづらさがあったり、何らかの障がいを持っている若者たちを応援する「ミニバイト事業」(応援金付き就労体験事業)。就労体験を通して、自分の強みを発見し、自分らしい進路を模索する若者をやさしく応援する事業です。

ミニバイト事業は誰一人取り残さない、SDGsの実現に努めています！

ながの「地域課題解決
チャレンジプロジェクト」

使途選択
募金

いただいた募金はこの活動に使います！

「ミニバイト」(15施設で各3人、1件上限2万円)を提供します。

目標金額

100万円

ミニバイト(就労体験)に対する児童養護施設出身(在園・卒園生)の子どもたちの生の声

Voice
1

施設を卒園する前に、
なりたい自分を考え、
バイト体験しておけば
よかった。(卒園生Aさん)



Voice
2

16歳で施設に入園、
一銭もなかった。
アルバイトでお金を
得る自信もなかった。
こんな体験があれば
うれしい。(卒園生Oさん)

Voice
3

施設の近くでアル
バイトして、お金が
たまったら運転免許
を取りたい。
(在園生Yさん)



Voice
4

いろいろ苦手なことも
あるけれど、自立に向け
て自信ができました。
やりたいことが
見つかりました。
(在園生Zさん)

若者サポートプロジェクトとは

ミニバイト事業は長野県社会福祉協議会が実施する「若者サポートプロジェクト」(2022年6月始動)の一環として生まれました。

「若者サポートプロジェクト」は社会的養護出身の若者たちの住まい、就労、お金などの困りごとを、包括的に支援するプロジェクトです。

「ミニバイト」は、児童養護施設や里親のもとで育つ高校生が、自立する前に、バイトの体験を通して、少しでも社会に触れ、貯金もでき、自分自身の未来に向けてのステップとなるために必要な事業だと、児童養護施設関係者や卒園生の声から生まれたものです。



活動者の声

でん だ きよし
傳田 清さん

(長野県社会福祉協議会 ミニバイト事業担当者)

若者へ希望と自信を届けたい！
スマホ1台で世界と繋がれる時代、その反面でリアルな人の「つながり」・生きる「チカラ」が薄まっています。施設で生活している多くの若者は、支えてくれる家庭がないため、在園中から地域へ帰る準備を行い、一人で生きていく強さも手に入れなくてはなりません。若者の心には、自分に何ができるのか？何が好きなのか？お金を稼げるのか？多くの期待

と不安が混同しています。なかには虐待を受けたトラウマにより、自分の可能性にフタをして、心を閉ざして苦しんでいる若者もいます。

そんな若者たちのためにミニバイト(就労体験)により、多種多様な経験を積むハードルを下げ、自分の「強み」を発見することができれば、一生使える大きな武器・自信になります。応援をぜひお願いします！

この活動はこの団体が
主催しています

振込用紙を
持って郵便局へ！

インターネットでの
寄付受付は
こちらから



募金
受付期間

2023年1月1日
から
3月31日
まで

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会
社会的養護出身の若者サポートプロジェクト事務局

長野市中御所岡田98-1
TEL:026-226-1882 FAX:026-227-0137
E-mail:wakasapo@nsyakyo.or.jp